



医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院 様

診療科目は精神科、心療内科、老年精神科、老年心療内科、内科。精神療養／老人性認知症疾患治療／精神科一般の3つの病棟を有する。認知症疾患医療センターを中心に、地域の認知症治療に取り組む。

導入事例 電子カルテシステム

帳票を電子化して分散した情報を一元化

～チーム医療の高度化への第一歩～

患者様へ、より高いレベルのチーム医療をご提供することを目標に、その第一歩として電子カルテを導入し、運用の定着に成功した事例をご紹介します。

取材協力

副院長・看護部長 荒井 順子様、 事務長 神保元様

課題

- ・各職種間の情報共有を円滑にしたい
- ・病棟ごとに異なる看護過程の標準化
- ・紙カルテの保管場所不足解消

効果

- ・院内に点在する患者様データを一元化
- ・3病棟の業務洗い出し～標準化に成功
- ・75%の紙帳票を電子化し保管場所削減

院内に潜む紙カルテ運用の問題点

病院では医師や看護師の他、様々な職種の職員が患者様に関わりまします。各職種は、カルテ記録・看護記録・各種検査記録や作業療法記録等、様々な書類を作成します。それらの書類は、部署ごとに分散して保管していました。また過去から蓄積した膨大なカルテの中から当該患者様の紙カルテを探し診療に備えることがとても大変でした。



あと戻りはできないという「覚悟」

理事長の提案で電子カルテ導入の検討

を始めました。患者様のメリットや業務効率化など導入効果の整理から始まり、HCSさんから当院に合ったご提案を受け、導入が決まりました。電子カルテ導入は業務運用が変わる大改革です。やると決めたからには、あと戻りはできない覚悟で臨みました。パソコンが不慣れな職員から不安の声がありましたので、操作説明会や業務シミュレーションを何度も入念に行いました。また、パソコンでの操作内容が実業務とどう関係するか困惑する職員に対しては、抵抗感につながらないように、看護部長を中心に電子カルテ推進者が丁寧にフォローしました。各職員の努力もあり、現在は全員が円滑に使用しています。

電子カルテが診療のハブとなる

院内で利用する帳票類を精査したところ約200 帳票あり、その過程で病棟間で一部業務に違いがあることが判明しました。業務を見直して標準化し、最終的に約150 帳票にまとめた上で、電子カルテに集約しました。院内に点在していた情報は一元化され、今は患者様の情報をパソコンで簡単に閲覧することができます。共通の情報を介した職種間の情報共有や判断が迅速かつ的確になりました。病棟での申し送りに約20 分かけていた部署が、各自で電子カ

ルテを閲覧するように運用を変更したことで、申し送り廃止の方向へ進みました。

新たな付加価値の創造へ

2020年12月に運用を開始し、患者様のデータをシステムに蓄積し始めたところですが、今後はこのデータを分析し、いかに患者様に還元するかが課題です。

同じお悩みを持つ皆様へひと言

大きな変化を伴う業務改善の定着には、現場の方の理解が必要です。何ができるようになるのか事細かに伝える事ができれば理解してもらえますし、定着すると思います。推進者の熱意が一番大切です。




こころを大切に
日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 弘仁会
魚津緑ヶ丘病院

WEBページ


 富山県魚津市大光寺287番地
 TEL：0765(22)1567
 にかわ認知症疾患医療センター
 TEL：0765(22)3399

新企画

セミナー 10月開催！個別Webセミナー※

手書き書類のデジタル化、 貴社は何から 始めると良いかが分かる！

「手書き書類のデジタル化による業務改善」をテーマに、Webセミナーを開催します。本セミナーでは、さまざまな業種の成功事例や、デジタル化を社内浸透させるためのポイントなどをご紹介します。貴社の業務改善のヒントが満載です。

個別Webセミナーですので、「具体的にどのようにデジタル化を推進するか」などの個別相談も承ります。ぜひお気軽にお申し込みください。

〳 受付は5社限定！ 〳

〳 お申し込みはこちらから



※ 新企画「個別Webセミナー」とは、実施日時を相談し、ZOOMを使って行うセミナーです。

<主な内容>

1. 手書き書類のデジタル化で業務改善に成功した事例とは？
2. デジタル化による効果・活用方法
3. 成功企業から学ぶ！
デジタル化が社内浸透した
進め方のポイント
4. 成功企業が活用した製品紹介
5. 貴社は何から始めると良いか？
個別相談

お知らせ テレビCMが新しくなりました



弊社のCMが新しくなりました！

自信を持ってない若手社員が、先輩に支えられながら成長していくストーリー。弊社が目指す「ミライにチャレンジ、ミライをつくる」をイメージしています。

プロの女優さんと共に、弊社社員も登場。楽曲は石川県金沢市発の注目ロックバンドの曲です。既に8月13日(金)から放送しています。弊社HPからも視聴できますので、ぜひご覧ください。

〳 視聴はこちらから



HCSのよこがお

営業本部 営業推進部

にしじま れん
西島 廉 さん (入社1年目)

今回は、営業期待の新人！西島さんをご紹介します。

Q. 現在、業務では何をしていますか。

先輩のお客さま訪問に同行したり、商材の勉強をしたりしています。今年の10月に現場営業部門に配属されるので、営業としてのスキルを学んでいます。

Q. どんな営業になりたいですか。

同行訪問を通して、様々な営業スタイルがあるのだ

と感じています。どのような営業を目指すかはこれからですが、お客さまとは良い関係性を持ち、お客さまの悩みにしっかり寄り添いたいと思います。

Q. 趣味を教えてください。

筋トレです。大学生まではガリガリでしたが、在学中に筋トレに没頭しました。今も毎日栄養学や解剖学、トレーニング理論などの勉強と、体を鍛えることを繰り返し、着実に筋肉増量できています。



編集後記

先月、新型コロナワクチンを接種してきました。1回目の接種だったからか、副反応はあまり出ず、ホッとしました。いつも通り、左腕に約16kgの息子、右腕に重い買い物袋を抱えることができた程度です。

今月2回目の接種を予定していますが、接種完了後も、ウイルス感染は100%防ぐのは難しいようです。「うつらない」「うつさない」ためにも、マスク着用・手指消毒・3密回避など、感染対策は引き続き徹底したいと思います。1日でも早く、新型コロナウイルスの収束を願うばかりです。(まつお)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

〳 『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら

全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/